

国府地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年9月16日（火）午後1時30分～2時10分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 11名

事例提供者1名、サービス提供事業者1名、助言者6名、
包括職員2名、傍聴者1名

視野狭窄による転倒リスクはあるが、外出の意欲がある80歳男性

〈目標〉1日:歩行時は何かにつかまり動作を行う。転倒に気を付けて毎日歩く。

1年:定期的な運動を継続し、下肢筋力低下予防を図るとともに体力の維持を図る。

利用サービス：通所型サービス、住宅改修

《生活全般の解決すべき課題》

- 定期的な運動を行う事で現在の身体状態及び歩行状態の維持、日常の活動量の維持を図る。
- 白杖や手すり住宅など環境を整備し活用することで転倒リスクの軽減を図る。
- 定期受診を継続し身体状態を把握する。処方に沿った内服を行う事で体調の安定を図る。
- 病気に対する家族の理解度を高める。
- 歯科医受診を促し口腔機能の維持を図る。

《助言者からの助言内容》

- 睡眠リズムが整っておらず、朝食が摂れないと低血糖を起こす危険性があるので注意が必要。家族も一緒に受診して食事摂取量、服薬量を確認する必要がある。
- 糖尿病の改善のためにも歯科治療を優先させることが重要。
- 舌圧、口輪筋の低下が見られるため、健口体操と歯科受診を強く勧める。
- 服薬は1日の服用回数を減らし、用法をスリム化するように医師に相談すると良い。見えなくなった時に対応できるよう早めの準備が必要。
- 情報収集し、転倒の傾向を掴んで対応する。
- 白杖を上に掲げるとSOSのサインになる。白杖の使い方を知り、近所のなじみの方にも伝えておくが良い。
- 加熱した野菜を毎食取り入れ、血糖のコントロールを図る。調味料はかけずにつけて食べると減塩になる。
- 社会参加の場として、身体障害者福祉会、老人福祉センター、傾聴ボランティアの利用を勧めると良い。



• 歯科受診を早急に進め、口腔機能、病状の改善を図る。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

障がいがある高齢者が気軽に利用できる社会資源が不足している。